

県立病院ではたらく仲間をつなぐ

病院組合ニュース

2013. 6. 28 No.69

愛知県病院事業庁職員組合

〒460-0001 名古屋市中区三の丸2-3-2

愛知県自治センター内

電話(052)954-6882 FAX(フリアクス)0120-930-340

メールアドレス byoin@aichikenshoku.gr.jp

病院事業庁

平成25年度から平成28年度

第2次県立病院経営中期計画を公表

4つの方針

- 1 高度・先進的な専門医療の提供
- 2 信頼と満足感に溢れる良質な医療の提供
- 3 専門医療及び政策医療に従事する医療者の育成
- 4 確固たる経営基盤の確立



6. 27がんセ中央 化学療法開所式

がんセンター中央病院
 高度・先進医療の推進により他病院との差別化を図り、県内唯一の都道府県がん診療連携拠点病院として、更なる機能強化に努めていきます。
 特に、臨床研究中核病院や特定機能病院の

病院事業等は、がんセンター外来化学療法センターのオープン、愛知病院の緩和ケアセンター、小児センターの三次救急のため、救急棟の建設、城山病院の全面改築、尾張診療所の「あり方」を検討するなどの4年間の新たな計画を策定しました。

指定を目指した体制の整備に取り組みます。

がんセンター研究所

中央病院との連携を一層深め、がん克服を目指した新しい医療の創出に向けた研究を推進していきます。

がんセンター愛知病院

特に、緩和ケア病棟を持つ特色として、緩和ケア機能の一層の強化を図り、入院・外来から在宅までを含めた緩和ケアを推進するため、先進的な地域包括緩和ケアシステムの構築に取り組みます。

そのシステムの核となる施設として、今年度中に、新しく、緩和ケアセンターを建設します。

がんセンター尾張診療所

当面は乳がんの2次健診の患者数の増に努めながら、循環器呼吸器病センター跡地の利活用を含め、今後の診療所のあり方について検討します。

城山病院

県内の精神科救急体制のバックアップ体制の強化、医療観察法の入院患者に対応できる病棟整備とともに、国が推し進めている精神障害者の入院から地域生活への移行に向けた支援をするための取り組みとして、訪問看護を始めとするアウトリーチ型の医療を推進していきます。

あいち小児センター

三次救急医療については、県地域医療再生計画に基づき、PICUやNICUなどの整備を進めます。

これらの病院ごとの取り組みに応じた成果指標と28年度の数値目標を定め、その達成に向けて取り組んでいくこととしています。

病院レクに参加しよう！

日時：8月24日(土) 城山病院・金山発
 場所：京都よしもと祇園花月観劇など
 募集：40名(定員を超えた場合は抽選)
 締切：7月30日(火)

※詳しくはチラシをご覧ください。

樋口病院事業次長との対談



組んでいきたい。

また、4病院で改築等のハード面の整備を進めているが、これについては、責任を持ってしっかりと進めていきたい。

患者サービース

〈病院組合〉

直接に診療報酬に結びつかない患者サービスも信頼と満足感につながる。看護師や医療従事者の欠員をなくすことが必要と思う。

〈次長〉

自分の親も県立病院に入院したことがあるが、その時に職員の皆さんがとても熱心に患者さんやご家族に接していることを実際に体験した。少しでも欠員をなくすため、環境を改善していくことも必要と思う。

職員の専門性

〈病院組合〉

育成だけでなく、育成した職員が後継者を育て、「つなげる」ことが必要である。そのためには資格取得者に対し、資格の更新まで含めた対応も考えていかななくては、「職員のモチベーション」も上がらないし、継続につながらないと思う。

〈次長〉

確かに専門、認定看護師など資格を取るのには一部は公費で行うが、休職して資格を取らなければならぬ部分もある。昇任、昇格なども含めて改善できることを考えていきたい。

〈病院組合〉

独立行政法人は「自治体が直接実施する必要がある業務で、民間に委ねては確実な実施がでない恐れのあるものを効率的に行わせる」ために設立する法人である。

経営形態

〈病院組合〉

一般会計負担金が減らされる可能性もある。職員を増員できないことも大きな要因と思うが、それだけで判断をしていくことは問題ではないか。

〈次長〉

交渉でも説明をしたが、循環器呼吸器病センターの跡地の活用も含めて総合的に判断をしていく。

〈病院組合〉

循環器呼吸器病センター廃止の時に地域住民からの要望もあつて尾張診療所ができた。跡地が老健、介護施設などに利用されれば、それは地域住民の要望に沿うことになるので、跡地の活用についてはしっかりと考えてほしい。

〈次長〉

第2次県立病院経営中期計画の中でもうたっており、しっかりと考えていく。

〈病院組合〉

愛知病院の「レスパイト入院」は在宅医療を考えれば、大変良いことと思う。

その他

〈病院組合〉

尾張診療所はどうしていいのかが、

看護・介護をしている家族が非常に助かると思う。病院となれば安心して利用もできるし、病床利用率も上がると思う。

〈次長〉

「レスパイト入院」については、第2次県立病院経営中期計画の中でも明示しているが、在宅がん患者及び家族への支援活動の一つとして、他院へ通院中のがん患者のレスパイト入院の受入れに取り組んでいく。

更に、愛知病院では、今年度に緩和デイケアセンター（仮称）の整備を進めており、緩和ケアの推進により一層取り組んでいく。

